

2026 年度

(国外在住) 外国人留学生特別選考

大学院学生募集要項

文学研究科〔男女共学〕

国語国文学専攻（修士課程）

神戸松蔭大学大学院

目 次

基本方針

文学研究科	1
国語国文学専攻	2

募集要項

1. 募集人員	4
2. 出願資格	4
3. 入試日程	4
4. 選考方法	4
5. 出願手続	4
6. 合格者発表	6
7. 入学手続	6
8. 奨学金制度	7
9. 願書記入上の注意	7
10. 個人情報の取り扱いについて	7

大学院概要 国語国文学専攻	8
---------------------	---

大学院入試結果	10
---------------	----

基本方針

文学研究科

神戸松蔭大学大学院は、聖公会キリスト教主義に基づく人格形成を根本方針とし、文化の創造的発展と人類の福祉に寄与する人材を育成することを目的としている。本大学院は、この大きな目的のもとに次の基本方針を設定する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

神戸松蔭大学大学院は、次のような人が入学を志望することを期待する。

1. 知識・技能
 - ・各専攻の教育研究の目的を理解し、専門分野の研究を遂行するのに適した知識・学力の基礎を有し、さらに深い学識と高い研究能力・実践力を養う意欲を持つ人。
2. 思考力・判断力・表現力
 - ・各専攻分野において自ら問題点と課題を発見し、先行研究を含む多角的な観点からの判断力をもって解決にあたり、自らの知見を妥当な論理性をもって積極的に発表する表現力を持つ人。
3. 態度・志向性
 - ・研究の世界には多様な考え方があることを認識し、自分にとって未知の概念や思考法を学び吸収することに積極的な姿勢を持つ人。
 - ・自分が専攻しようとしている研究分野が人間の世界の中でどのような意味を持ち、どのように位置づけられるかを意識する、広い視野を持つ人。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

神戸松蔭大学大学院は、次のような方針で教育課程を編成し、実施する。

1. 教育課程編成の方針
 - ・専門的な学術理論および応用を研究教授し、深い学識と高い研究能力・実践力を養成するカリキュラムを編成する。
 - ・各専攻分野において、基礎的な知識・概念から高度に専門的な研究に導く体系的なカリキュラムを編成する。
2. 教育課程実施の方針
 - ・年度ごとに研究指導計画を示し、各専攻の指導方針を具体的に説明し、学位論文にいたるスケジュールを提示する。
 - ・各専攻分野において個人指導を重視し、授業以外の場においても積極的に指導を行い、また各専攻のすべての教員が学生一人ひとりの関心をもつ研究分野と進捗を把握する。
 - ・学生が設定する自らの研究計画・到達目標と、その達成の自己評価を指導に活用する。
3. 基礎的技能
 - ・各専攻分野で研究および成果の発表を行っていく上で必要な研究環境を整備し、それを使いこなす基礎的な技能を指導する。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

神戸松蔭大学大学院は、所定の年限以上在籍し、各専攻の授業を履修して必要な単位数を修得し、学位論文を提出してその審査および試験に合格した上で、次の要件を満たす者に学位を授与する。

1. 知識・理解
 - ・各専攻分野において、各自の研究対象を体系的かつ多角的に理解して高度な専門的知識に到達していることを妥当な論理性をもって表現できている。
 - ・自らの分野の専門性を深めるだけでなく、その研究分野が世界の中でどのような意味を持ち、どのような位置づけができるかを理解し、説明できる。
2. 汎用的技能
 - ・自らの研究分野だけでなく、他の研究分野、さらに一般社会においても有用な研究上の技能を身につけている。
 - ・自らの知見を、内容が論理的に妥当であるだけでなく、各専攻分野で認められている形式

に則って表現し、その分野の専門家以外の人にも理解できる文章で伝えることができるコミュニケーション能力を身につけている。

3. 態度・志向性

- ・学位の取得にとどまらず、一生涯を通して自らにとって新しい知識や知見を求めつづける態度を持っている。
- ・自らの研究成果が世界の健全な発展に寄与できる可能性を常に意識している。

4. 研究倫理

- ・人を対象とする研究分野においては、人権・人格を何よりも尊重し、関係する法令を十分に理解し、これを遵守する。
- ・研究倫理を深く理解し、データの取り扱い、個人情報保護、文献や資料の引用、研究成果の発表の仕方などにおいて研究倫理に反することがないように、日常的に意識を持つ。

国語国文学専攻

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国語国文学専攻は、次のような人が入学志望することを期待する。

1. 知識・技能

- ・国語国文学専攻の教育研究の目的を理解し、日本語学、日本語教育および日本文学の研究を遂行するのに適した基礎学力を有している人。
- ・高度な学識と専門分野での研究能力・実践力を養う強い探求心と学修意欲を有している人。

2. 思考力・判断力・表現力

- ・広い視野に立ち、自ら問題点と課題を発見し、先行研究を含む多角的な観点からの判断力を持って解決にあたる人。
- ・自らの知見を創造的な思考と妥当な論理性を持って積極的に発表する表現力を持つ人。

3. 態度・志向性

- ・広い視野を持って学び吸収することに不断の努力を惜しまない積極的な姿勢を持ち、研究者、教育者として社会に貢献することを目指している人。
- ・国語国文学専攻で学ぶことが社会の中でどのような意味を持ち、どのように位置づけられるかを意識し、世界に向けて日本語、日本文学、日本文化を発信しようとする意欲のある人。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

国語国文学専攻は、次のような方針でカリキュラムを編成し、実施する。

1. 教育課程編成の方針

- ・日本語学、日本語教育および日本文学の3系統の授業を提供し、高度で専門的な学術的研究を可能にする。
- ・日本語学系統においては、古代から近代、現代までの日本語を対象とする。幅広く、音韻、文法、語彙、意味、言語運用などの諸分野の研究をなす。また、他言語との対照研究も視野に入れる。
- ・日本語教育系統においては、目標言語である母語話者の日本語、あるいは日本語学習者の日本語を対象とする。幅広く、音韻、文法、語彙、意味、言語運用などの諸分野と日本語教育の実践との関連づけを視野に入れ、多角的な研究をなす。
- ・日本文学系統においては、古代（上代・中古・中世）から近代（近世・近代・現代）の散文と韻文、戯曲を対象とする。幅広く関連する時代分野を積極的に学びながら、歴史や芸術、諸外国の文学なども視野に入れ、多角的な研究をなす。

2. 教育課程実施の方針

- ・各専門分野で個人指導をなすとともに、全教員による集団指導を行い、修士論文の中間発表や最終試問を実施する。

3. 基礎的技能

- ・研究および成果の発表を行っていく上で必要な研究環境を整備し、それを使いこなす基礎的な技術を指導する。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

国語国文学専攻は、修士の学位を取得するにあたって、次の要件を満たすことを求める。

1. 知識・理解

- ・日本語学、日本語教育および日本文学の各分野において、十分な知識を有し、体系的な理解力を身に付ける。
- ・日本語学、日本語教育もしくは日本文学の分野において、高度で専門的な知識を獲得し、国際化の時代に即応した研究を進めることができる。

2. 汎用的技能

- ・諸課題を解決し、他者とのコミュニケーションを図る過程で、説得性のある論理的な文章を構成する力を身に付ける。
- ・自ら設定した課題について、先行研究を的確に把握した上で独創的な知見を示すことができる。

3. 態度・志向性

- ・自らの思考、認識を的確に把握し、それを専門的な研究に生かす積極性を保持する。
- ・高度な専門知識を備えた人材として、粘り強く学術的成果を社会へ発信する。

4. 研究倫理

- ・人を対象とする研究分野においては、人権・人格を何よりも尊重し、関係する法令を十分に理解し、これを遵守する。
- ・研究倫理を深く理解し、データの取り扱い、個人情報保護、文献や資料の引用、研究成果の発表の仕方などにおいて研究倫理に反することがないように、日常的に意識を持つ。

2026年度 (国外在住) 外国人留学生特別選考 大学院学生募集要項

1. 募集人員

研究科名	専攻名	募集人員
文学研究科	国語国文学専攻	若干名

2. 出願資格

日本国外に在住する外国人(外国の国籍を有する者)で、次の各号の一つに該当する者(男女を問わない)。

- (1) 大学を卒業した者、または2026年3月までに卒業見込みの者。
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、または2026年3月までに修了見込みの者。
- (3) 本大学院において、大学を卒業した者と同等の学力があると認められた者。ただし、2004年4月1日以前に生まれた者。

3. 入試日程

	秋 季	春 季
①出願受付	2025年7月 1日(火)～7月28日(月)	2025年11月25日(火)～12月8日(月)
②課題提出期間	2025年8月19日(火)～8月27日(水)	2026年1月14日(水)～1月28日(水)
③試験日	2025年 9月13日(土)	2026年2月11日(祝・水)
④合格発表	2025年 9月18日(木)	2026年 2月16日(月)
⑤入学手続期間	一次手続 2025年9月19日(金)～9月30日(火) 二次手続 2026年2月16日(月)～2月27日(金)	2026年2月16日(月)～2月27日(金)

- (注) 1. 出願者に対して、本学から課題を送付します。
2. 課された課題に対する解答を、課題提出期間内に本学宛に提出してください。

4. 選考方法

課題、提出論文、推薦書、試験の総合判定。(本学における筆記試験は行いません。)

*課題提出論文に関して、インターネット、電話などにより質疑応答を行う場合があります。

試験は、課題・研究計画書・専門分野に関連した口頭試問をZoomにて実施します。

実施方法等につきましては、別途個別にご案内します。

5. 出願手続

(1) 出願書類等

a. 入学願書(本学所定用紙)

※「写真票」の所定の位置に正面上半身の写真(1枚)を貼付すること。

b. 最終出身学校の卒業(見込)証明書または修了証明書

c. 最終出身学校の成績証明書

d. 健康診断書(本学所定用紙)

e. 履歴書(本学所定用紙)

f. 研究計画書(本学所定用紙)

対象者	用紙	摘 要
国語国文学専攻を志望する者	本学所定用紙(A4判)	志望動機、入学後の研究計画を具体的に書くこと。約1,000字(日本語で書くこと)

g. 卒業論文（写し）または志願者が選ぶ論文1編

対象者	用紙	摘要
国語国文学専攻を志望する者	任意 (可能ならばA4判とすること)	論文が日本語以外の言語で書かれている場合は、日本語要旨(4,000~6,000字)を添えること。

h. 推薦書（本学所定用紙）2通

※2名の異なる人物がそれぞれ作成したもので、日本語または英語で書かれたもの。

i. 日本語能力を証明する書類および英語能力を証明する書類

※英語を母語とする者は、英語能力を証明する書類の提出は不要。

1) 日本語能力を証明する書類：

日本留学試験受験票の写し（「日本語」を受験していること）

または、日本語能力試験1級の受験結果(3年以内)の写し

[参考]日本留学試験についての問い合わせ先

日本留学試験受付センター

〒192-0081 東京都八王子市横山町10-2八王子 SIA ビル7階

MAIL: eju@sbcj.co.jp TEL. 042-649-9571

[参考]日本語能力試験についての問い合わせ先

<https://www.jlpt.jp/contact/index.html>

よくある質問 <https://www.jlpt.jp/faq/index.html>

(注) 日本留学試験及び日本語能力試験の受験が困難な場合は、それに代わる日本語能力試験の成績証明書に本学所定の「日本語能力証明書」を添えて提出。

j. パスポートの写し

記載事項のあるページは、すべてコピーを提出してください。

k. 経費支弁に関する書類

①本人負担の場合

1. 本人名義の銀行預金残高証明書（日本円に換算したもの）
2. 本人の在職証明書とその日本語訳
3. 預金についての経緯説明書とその日本語訳（※職歴がなく2.が提出できない場合のみ提出）

②外国からの送金（両親・親族等負担）の場合

1. 負担者名義の銀行預金残高証明書（日本円に換算したもの）
2. 負担者の在職証明書とその日本語訳
3. 本人との親子・親戚関係証明書とその日本語訳
4. 負担者が記入した経費支弁書（本学所定用紙）とその日本語訳

③日本に在住する経費支弁者負担の場合

1. 負担者名義の銀行預金残高証明書（日本円に換算したもの）
2. 負担者の在職証明書（会社員・一般雇用者の場合）
3. 会社登記簿謄本（会社経営者・役員の場合）
4. 負担者の住民税または所得税の納税証明書
5. 負担者の確定申告書（控）の写し（自営業の場合）
6. 負担者が記入した経費支弁書（本学所定用紙）
7. 負担者の印鑑登録証明書
8. 負担者の住民票（同一世帯全員分）
9. 外国人登録原票記載事項証明書（負担者が外国人の場合）

1. 返信用封筒…大きさは（12cm×23.5cm）程度

課題送付用と合否結果通知送付用のため、2通分を同封してください。

本人が確実に受け取ることができる送付先住所・氏名を記入のこと。

(注)

1. 提出書類のうち、日本語・英語以外で書かれた証明書、文書等には、日本語訳を添付してください。
2. 日本語訳については、翻訳者の氏名・所属機関・職位・住所・電話番号・作成日を付記してください。志願者自身による翻訳の場合は、原本と同じであることを証明する公的機関からの証明印を受けてください。
3. 記載事項または申告に虚偽の事実が発覚したときは、入学を取り消すことがあります。
4. 入学手続き時に、身元保証人による在学中の身元保証書（本学所定用紙）を提出してください。保証人は次のいずれかによること。

- ①日本国内に在住する日本人
- ②日本に永住する外国人（在留資格「永住者」）

(2) 入学検定料および納入方法

入学検定料： 30,000円

納入方法： 日本円の小切手等で、出願書類に同封してください。

(3) 出願方法

(1)の出願書類一式および検定料を一つの封筒に同封して、書留郵便（または EMS）にて本学教務課大学院係宛に提出してください。（締切日必着）

(注) 一旦提出された書類および納入された検定料は、原則として返還いたしません。

返還請求ができる理由は(4)を参照。

(4) 入学検定料の返還請求について

入学検定料の返還請求ができるのは、以下の場合のみです。それ以外の場合は、いかなる理由があっても一旦納入された入学検定料は返還いたしません。

- ①入学検定料を納入したが本学に出願書類を提出しなかったあるいは出願が受理されなかった場合。
- ②入学検定料を二重に納入した場合。
- ③入学検定料の納入金額を誤った場合。

返還請求方法については、(5)記載の問い合わせ先までご連絡ください。

(5) 送付先・問い合わせ先

〒657-0015 日本国兵庫県神戸市灘区篠原伯母野山町1-2-1

1-2-1, Shinohara-Obanoyama-cho, Nada-ku, Kobe-shi, HYOGO, JAPAN ZIP:657-0015

神戸松蔭大学 教務課 大学院係

Kobe Shoin Graduate School of Letters, Kyomu-ka

E-Mail: kyomu_grad@mb.shoin.ac.jp

Tel:078-882-6133 Fax:078-882-6180

6. 合格者発表

郵送および可能な場合にはE-mailで通知します。

7. 入学手続

(1) 合格者には合格通知書とともに手続書類を送付します。所定の期日までに入学手続きを完了してください。入学手続きを完了した者に、入学許可書を交付します。

(2) 入学手続時納付金および学費（2026年度）

区分	事項	金額	納入期日
国語 国 文学 専攻	入学金	200,000円	入学手続時
	授業料	480,000円(年額)	前・後期2回
	教育充実費	40,000円(年額)	前・後期2回
	同窓会費	5,000円(年額)	入学手続時
	研究会費	5,000円(年額)	入学手続時
	合計	730,000円	

(3) 所定の期間内に書類の提出および校納金の納入等所定の手続きを行わない場合は、入学の意思が無いものと認め、合格を取り消します。所定の期間内に手続を行えない場合は、至急、教務課まで連絡してください。

(4) 学費返還について

入学手続き完了後、本学への入学を辞退し学費返還を希望する場合は、秋季・春季いずれの場合も「入学辞退届」および「学費等返還願書」を2026年3月31日（火）16時までに提出し手続きを行えば、入学金を除く校納金を返還します。入学金は、理由の如何を問わず返還いたしません。

8. 奨学金制度

大学院留学生を対象とした、本学独自の「大学院留学生給付奨学金制度」があります。採用された場合の奨学金は年間校納金（授業料、教育充実費）の2分の1に相当する額を給付します。

奨学生として採用される期間は当該年度限りですが、引き続き奨学金給付を希望する者は、次年度以降も再申請することができます。ただし、本学独自の姉妹等奨学金、学外の給付奨学金の受給者となった時、前述の大学院留学生給付奨学金と重複受給することはできません。

9. 願書記入上の注意

「入学願書」「写真票」「受験票」は、太枠で囲まれた記入欄内に必要事項を黒ボールペン（消せるボールペンは不可）で記入して、切り離さずに提出してください。

誤って記入した場合は、訂正すべき箇所に二重線を引き、その上に訂正印を押して、正しい内容を書き加えてください（修正テープ等は使用しないでください）。

(1) 入学願書

- | | |
|---------|--|
| ① 入試時期 | 秋季・春季のいずれか該当する方を○で囲んでください。 |
| ② 専攻名 | 志望する専攻名を記入してください。 |
| ③ 入試区分 | 「国外在住外国人留学生」と記載されていることを確認してください。 |
| ④ 氏名 | 姓名を楷書で記入し、フリガナをカタカナで記入してください。 |
| ⑤ 生年月日 | 西暦で記入。 |
| ⑥ 性別 | 該当する性別を○で囲んでください。 |
| ⑦ 現住所 | 国名から記入してください。郵便番号、電話番号、E-mail アドレスも記入。 |
| ⑧ 帰省先 | 帰省先の住所・電話番号を、現住所欄と同じ要領で記入してください。 |
| ⑨ 出身大学 | 最終の出身大学名、学部・学科名と、卒業（見込）年月（西暦）を記入。
国名、国公立の別も記入してください。
卒業・卒業見込は、該当する方を○で囲んでください。 |
| ⑩ 学歴・職歴 | 学歴の卒業・卒業見込は、該当する方を○で囲んでください。
学校、勤務先については国名を（ ）書きで付してください。 |

(2) 写真票

- | | |
|---------|---|
| ① 専攻 | 志望する専攻名を記入してください。 |
| ② 氏名 | 姓名を楷書で記入し、フリガナをカタカナで記入してください。 |
| ③ 写真貼付欄 | 縦4cm×横3cm、正面・上半身、脱帽で3か月以内に撮影の写真1枚を貼付してください。写真の裏面に、志望専攻名・氏名を記入のこと。 |

(3) 受験票

- | | |
|------|-------------------------------|
| ① 氏名 | 姓名を楷書で記入し、フリガナをカタカナで記入してください。 |
| ② 専攻 | 志望する専攻名を記入してください。 |

10. 個人情報の取り扱いについて

本試験を通じて取得した個人情報につきましては、本学の入学試験実施および入学手続きに係る目的以外には使用いたしません。

11. ノートパソコン必携化について

本学では学生が自分自身のパソコンを常に携帯して学ぶ BYOD (Bring Your Own Device) に移行しています。入学時には携帯可能なノートパソコンが必要になりますのでご準備ください。

大 学 院 概 要

文学研究科

■国語国文学専攻（修士課程）

国語国文学専攻は、国語国文学に関する伝統的な学問領域を対象として、それをより深く研究し、その成果と研究方法を身につけることを目指す。

授業科目

	授 業 科 目	配当 年次		開講 区分	単 位 数	担 当 者 (予定)	備 考	
		1 年	2 年					
必修科目	国語国文学特別研究		○	通年	4	黒木 邦彦 池谷 知子 田附 敏尚	左記のうち2名が担当 (学生の研究内容に拠る)	
選択必修科目	日本文学	日本文学特殊講義 A 開講	○	○	前期	2	梶尾 文武	隔年開講
	日本文学特殊講義 B 開講	○	○	後期	2	梶尾 文武	隔年開講	
	◆日本文学演習 A	○	○	前期	2	梶尾 文武	隔年開講	
	◆日本文学演習 B	○	○	後期	2	梶尾 文武	隔年開講	
	日本文学史特殊講義 A 開講	○	○	前期	2	長谷川 佳男	隔年開講	
	日本文学史特殊講義 B 開講	○	○	後期	2	長谷川 佳男	隔年開講	
	◆日本文化演習 A	○	○	前期	2	長谷川 佳男	隔年開講	
	◆日本文化演習 B	○	○	後期	2	長谷川 佳男	隔年開講	
	日本語学	日本語学特殊講義 I A 開講	○	○	前期	2	黒木 邦彦	古典語 隔年開講
	日本語学特殊講義 I B 開講	○	○	後期	2	黒木 邦彦	古典語 隔年開講	
	◆日本語学特殊講義 II A	○	○	前期	2	田附 敏尚	現代語 隔年開講	
	◆日本語学特殊講義 II B	○	○	後期	2	田附 敏尚	現代語 隔年開講	
	◆日本語学演習 I A	○	○	前期	2	黒木 邦彦	古典語 隔年開講	
	◆日本語学演習 I B	○	○	後期	2	黒木 邦彦	古典語 隔年開講	
	日本語学演習 II A 開講	○	○	前期	2	田附 敏尚	現代語 隔年開講	
	日本語学演習 II B 開講	○	○	後期	2	田附 敏尚	現代語 隔年開講	
	日本語教育	日本語教育特殊講義 I A 開講	○	○	前期	2	池谷 知子	日本語の構造 隔年開講
	日本語教育特殊講義 I B 開講	○	○	後期	2	池谷 知子	日本語の構造 隔年開講	
	◆日本語教育演習 I A	○	○	前期	2	池谷 知子	言語と教育 隔年開講	
	◆日本語教育演習 I B	○	○	後期	2	池谷 知子	言語と教育 隔年開講	
	◆日本語教育特殊講義 II A	○	○	前期	2	F. Shiobara	言語習得・異文化理解 隔年開講	
	◆日本語教育特殊講義 II B	○	○	後期	2	F. Shiobara	言語習得・異文化理解 隔年開講	
	日本語教育演習 II A 開講	○	○	前期	2	松田 謙次郎	言語と社会・言語と情報 隔年開講	
日本語教育演習 II B 開講	○	○	後期	2	松田 謙次郎	言語と社会・言語と情報 隔年開講		

◆印は2026年度不開講

修了要件・履修方法

- ・修了要件 所定の授業科目について32単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。
- ・履修方法
 - ① 必修科目4単位：「国語国文学特別研究（論文指導）」通年、2年次配当。
 - ② 選択必修科目12単位以上：日本文学系統、日本語学系統、日本語教育系統の中の1分野から8単位以上。残りの2分野から各2単位以上。
 - ③ ①②を含み、上表の任意の科目、および他専攻・神戸大学大学院での開講科目から、合計32単位以上。
*ただし、他専攻・神戸大学大学院での開講科目履修は8単位を越えてはならない。

授業担当者

教授

池谷 知子	日本語教育特殊講義 I A、日本語教育特殊講義 I B、日本語教育演習 I A、日本語教育演習 I B 国語国文学特別研究
長谷川 佳男	日本文学史特殊講義 A、日本文学史特殊講義 B、日本文化演習 A、日本文化演習 B
松田 謙次郎	日本語教育演習 II A、日本語教育演習 II B

准教授

黒木 邦彦	日本語学演習 I A、日本語学演習 I B、日本語学特殊講義 I A、日本語学特殊講義 I B 国語国文学特別研究
田附 敏尚	日本語学特殊講義 II A、日本語学特殊講義 II B、日本語学演習 II A、日本語学演習 II B 国語国文学特別研究
Frances Shiobara	日本語教育特殊講義 II A、日本語教育特殊講義 II B

非常勤講師

梶尾 文武	日本文学特殊講義 A、日本文学特殊講義 B、日本文学演習 A、日本文学演習 B
-------	---

(2025 年 6 月現在)

大 学 院 入 試 結 果

神戸松蔭大学大学院

【2025 年度 修士課程】

		一般選抜<留学生含む>			社会人特別選抜			合 計		
		受験者数	合格者数	入学者数	受験者数	合格者数	入学者数	受験者数	合格者数	入学者数
国語国文学 専攻	男									
	女	4 (4)	4 (4)	4 (4)				4 (4)	4 (4)	4 (4)
	計	4 (4)	4 (4)	4 (4)				4 (4)	4 (4)	4 (4)
合 計	男									
	女	4 (4)	4 (4)	4 (4)				4 (4)	4 (4)	4 (4)
	計	4 (4)	4 (4)	4 (4)				4 (4)	4 (4)	4 (4)

(注) 秋季入試・春季入試の合計数を記載。()内の数字は、本学出身者で内数。

【2024 年度 修士課程】

		一般選抜<留学生含む>			社会人特別選抜			合 計		
		受験者数	合格者数	入学者数	受験者数	合格者数	入学者数	受験者数	合格者数	入学者数
国語国文学 専攻	男									
	女	4 (3)	2 (2)	2 (2)				4 (3)	2 (2)	2 (2)
	計	4 (3)	2 (2)	2 (2)				4 (3)	2 (2)	2 (2)
合 計	男									
	女	4 (3)	2 (2)	2 (2)				4 (3)	2 (2)	2 (2)
	計	4 (3)	2 (2)	2 (2)				4 (3)	2 (2)	2 (2)

(注) 秋季入試・春季入試の合計数を記載。()内の数字は、本学出身者で内数。

【問い合わせ先】

神戸松蔭大学 教務課 大学院係
〒657-0015 神戸市灘区篠原伯母野山町 1-2-1
TEL 078-882-6133
FAX 078-882-6180